

■児童・生徒の学力の状況

- 「全国学力・学習状況調査」の結果から、基礎的・基本的な知識・技能は、概ね身に付いている。
- 根拠を基に、自分の考えを書いたり、伝えたりする力や、複数の資料を関連付けて考える力に課題が見られる。
- 自分の考えをもち、対話を通して考えを広げたり、深めたりすることに課題が見られる。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 児童が自ら問いをもち、主体的に学ぶ問題解決的・探究的な授業づくりを充実させる。
- 自分の考えをもち、対話を通して考えを広げたり深めたりする学習活動を充実させる。
- 振り返りや自己評価を充実させ、学習内容の定着や次の学びにつなげる。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 「板橋区授業スタンダード」及び「板橋区授業スタンダードS」に基づく授業を実践し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。
- Self・Selectを取り入れた学習活動や一人一台端末を活用し、児童一人一人の実態に応じた個別最適な学びと協働的な学びを推進する。
- NIEや学びのエリアにおける小・小連携、小・中連携、地域教材を活用した探究的な学習を充実させ、自ら課題を見だし、考えを表現し、主体的に学び続ける児童を育成する。

■確かな学力の育成に向けての具体的な方策

視点1

板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組

- 各教科等の特質に応じて、「板橋区授業スタンダード」を踏まえた問題解決的・探究的な学習」課程を工夫する。
- Self・Selectを取り入れ、児童が学び方や学習内容を選択する場面を設定する。

視点2

ICT環境の適切な維持と活用
個別最適な学び・協働的な学びの実現

- 一人一台端末を活用し、考えの共有や共同編集を通して、多様な考えに触れる機会を充実させる。
- 学習アプリ等を活用し、一人一人の理解度や学習状況に応じた学習を進める。

視点3

総合的な学習の時間との連携

- 各教科で身に付けた資質・能力を総合的な学習の時間につなげ、探究的な学習を推進する。
- 学びのエリアや地域教材を活用した教科横断的な学びを充実させる。

■MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035- -アクションプラン2028-の実現に向けた具体的な取組

保幼小接続・小中一貫教育の推進

- スタートカリキュラムや学びのエリアにおける保幼小・小中の連携を推進し、発達段階に応じた系統的・継続的な学びを充実させる。
- 学びのエリアでの合同学習や交流を通して、多様な考えに触れ、協働して学ぶ力を育成する。

豊かな心と健やかな体の育成

- 道徳教育や特別活動、体育・健康教育、食育を関連付けながら、自他を尊重し、主体的に行動する態度と健やかな心身を育成する。
- 体験活動や地域との交流活動を充実させ、自己肯定感や協働する力、社会の一員としてよりよく生きようとする態度を育み、笑顔あふれる学校づくりにつなげる。

多様な教育的ニーズへの対応

- 特別支援教育や人権教育の充実を図り、一人一人の教育的ニーズや発達段階に応じたきめ細かな支援を推進する。
- SC・SSW・関係機関・家庭等との連携を図り、誰一人取り残すことなく、安心して学び続けることのできる、教育環境づくりを推進する。